

I. 以下の文章を読み、設問に答えなさい。

1990年、アメリカの連邦最高裁判所が、生命維持装置なしで生き続けている植物状態の娘への栄養と水分の補給を中止してほしいとの家族の要請を、本人の意思の裏付けがないとの理由で却下したことで有名になったナンシー・クルーザン事件があったが、安楽死ではない植物状態患者の治療の中止でも、家族よりも本人の意思がこのように重いのである。

また、「誰もが見るに見かねるほど患者の苦痛が甚だしく、耐え難い肉体的な苦痛に襲われている場合」に限定しているところが大切である。つまり、このような場合に、医師がまず患者にしてあげなければならないことは、死なせてあげることではなくて、患者の痛みを取って、生きているのも嫌になるほどの苦しみから解放してあげる努力をすることなのである。現在では、末期癌の患者の耐えられないほどの激痛ですら、緩和して耐えられるように、そして、大部分の患者の痛みをなくすることができるほどに、鎮痛のための治療技術が進んできていることを、決して忘れないでいただきたい。

痛みさえ持続的に和らげば、死にたいと言っていた患者にも「生きる望み」と「生きたい意欲」がわいてくるものであって、断末魔の苦しみに「早く死なせて」と患者が言ったからといって、鎮痛療法などに万全を尽くさずに、患者を死に追いやるような処置をすることは医師として絶対にすべきではない。

(星野一正：医療の倫理、岩波新書、P.131-132、1991. より改変)

問1 文章に描かれた状況には、どのような倫理課題があるか、あなたの考えを述べなさい。

問2 問1で述べた倫理課題への対応について、倫理原則を用いて具体的に述べなさい。

Ⅱ. 設問に答えなさい。

問1 チーム医療を効果的に実践するためのコミュニケーションについて述べなさい。

問2 チーム医療の実践において直面する可能性のある課題とその解決策について述べなさい。